

Goal 7

エネルギーをみんなにそしてクリーンに

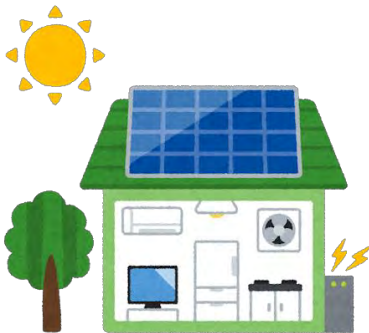
AFFORDABLE AND CLEAN ENERGY

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



●この目標(Goal)の解説

目標7では、世界の全ての人々が、人々や自然への悪影響に繋がらない「持続可能な」エネルギーを安定的に利用できるようになることを目指しています。これは他の目標の達成の前提にもなります。



電気や燃料をはじめとするエネルギーを使えることは、現代社会において人々が豊かな暮らしをおくるための大事な条件です。

現在のエネルギーの主役である化石燃料は、環境破壊を引き起こし、化石燃料を消費することによる二酸化炭素排出は、気候変動の最大の要因となっています。化石燃料からの世界的な移行を脱炭素化といい、脱炭素化・再生可能エネルギーの拡大を目指すとともに、途上国の技術向上や基盤の整備に向けた国際協力の必要性が掲げられています。

私たちの身の回りにはエネルギーとして、電気があげられます。日常に寄り添う大学生協は、企画や発信など様々な形で、エネルギーを身近に考えてもらうためにアプローチできます。そのためにも、まずは一人ひとりがエネルギー問題に関心を持ち、暮らしの中で無駄な電力を使っていないか確認し、行動に移すといった「個人の意識」が大切です。

エネルギーの種類をよりクリーンで効果的な利用に切り替えていくことは、全世界的な取り組みの中で進展を見せるものの、ペースの加速が求められています。

●大学生協での実践事例



全国大学生協連 ふくしま被災地スタディツアー

普段の生活で原発事故やそれによって生じている問題・課題を思い出すことが少なくなっている今、津波と原子力災害の複合災害を受けた「ふくしま」について正しい情報の理解と共感を広めることなどを目的としたツアーを行っています。原子力発電というエネルギーの作り方についての知識を得て自分たちの考えを様々な人と交流する場としても設けられています。



全国各地の大学生協 廃油を活用した取り組み

多くの大学生協では、食堂から出た廃油を再利用してキャンドルを作製して夕方から夜にかけて行われる組合員交流企画で活用しています。その多くは、廃油を使っていることを伝えることで、資源の大切さを感じてもらったり、リサイクル・エコ活動に興味を持ってもらうことを目的としています。また発電に利用している大学生協もあります。

(写真は愛媛大学生協の「キャンドルナイト」での写真です。)



●この目標に対して私たちができること

👉私たちができること／自分の大学・大学生協でできることを考えてみよう！